

食育つうしん

1月24日は給食記念日です！

入野小学校では昨年5月から学校給食が始まりました。
日本で初めて学校給食が始まったのは今から125年前のことです。
給食はどのように変わってきたのでしょうか・・・？
今、みなさんが食べている給食と比べて考えてみましょう。



～給食の歴史～



明治22年、小学校を建てたお坊さんが、お弁当を持ってこられない子どもがたくさんいたので、作ってあげたそうです。みんな大喜びで食べたそうです。

- おにぎり
- さけ
- 菜のつけもの

きゅう食のはじまり



昭和17年、戦争が始まり給食も続けられないところが多くなってしまいました。

- すいとん

きゅう食がなくなる・・・



昭和21年12月24日、世界の援助を受けて再び給食が開始されました。

- ミルク(脱脂粉乳)
- トマトシチュー

きゅう食ふっかつ記念

→12月24日はほとんどの学校が冬休みなので1月24日を記念日としました。



昭和29年、学校給食法によって、給食は教育の一環として全国で行われるようになりました。

- コッペパン
- ミルク(脱脂粉乳)
- くじらの竜田あげ
- せんキャベツ

きゅう食が全国へ

→昭和33年、脱脂粉乳(粉ミルクのようなもの)が牛乳へとかわっていきました。



昭和51年、米飯給食が開始されました。コッペパンに比べてメニューの種類が増えました。

- カレーライス
- 牛乳
- サラダ
- デザート

きゅう食にごはんが くわわりました！

きりとり

食育つうしん返信らん

～給食に関するご意見、ご感想などをお寄せください～

年 名 前